

質問回答

2016年9月20日

「2016年度案件別外部事後評価:パッケージⅢ-7(スーダン)」

(公示日:2016年9月7日/公示番号:160509)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第1のP.8(2)評価対象とする業務従事者の予定人月数、およびP.23業務実施上の条件	評価対象とする業務従事者の予定人月数で、3.65M/Mとの記載がありますが、後半には「総括は現地調査に行かず、国内作業のみとすることも可」とあります。しかし、業務量の目安では全体5.05M/Mのうち、現地2.20M/M、国内2.85M/Mとなっています。当案件では副業務主任者も認められていないので、総括の業務を分けることはできないと思われ、すなわち総括は全体のうち3.65M/Mを担当することになりますが、その場合、国内作業のみを担当するにはどうすればいいのでしょうか？全体を現地1.4M/M、国内3.65M/Mと変更するのか、あるいは総括(評価対象の業務従事者)のM/Mを2.85M/Mに減らしてもいいのか、どちらなのでしょうか？	業務量目途の5.05M/Mのうち0.6M/Mは総括業務(全件の品質管理・スケジュール管理および若手育成)として確保した上で、残り4.45M/M(現地2.2M/M、国内2.25M/M)を貴社の考える体制に再配分し、プロポーザルでご提案ください。なお、その際は詳細分析の業務量も勘案してください。
2	【第5プロポーザルに記載されるべき事項】2.業務の実施方針等(p.4業	「注1」(1)と(2)を併せた記載分量は、20ページ以下」とありますが、パキスタン案件が入っていた前回の指示書と同	今回の業務指示書より、調査の遠隔実施を含めています。このため、プロポーザル記載分量を変わず20ページとしています。なお、20ページは最大ページ数ですので、範囲内でご記載ください。分量よりも、

	務指示書) 四角内の 注1)	じょうです。今回は 2 案件となっておりますが、分量は変わらず「20 ページ以下」でよいでしょうか？	明確な業務実施方針が記載されていることが重要です。
3	【第 2 業務の目的・内容に関する事項】(p.20 別紙 2/2 業務指示書<個別条項>)	「安全対策に必要な経費(警護、衛星携帯電話、警備員備上、安全対策設備費等)」について、本業務では危険地域には渡航しない予定ですが、この経費は現地調査補助員にかかる「安全対策に必要な経費」と考えてよいでしょうか？また、「安全対策設備費」とは具体的にどのようなものを想定されていますか？	現地調査補助員にかかる「安全対策に必要な経費」を計上して下さい。現在ダルフル渡航の際の安全対策措置として求められている地上波携帯、衛星携帯電話、1グループに1台 VHF ラジオのレンタル費用等があります。現地調査実施時の安全対策措置に合わせて計上頂くこととなります。
4	「カッサラ市給水緊急改善計画」について	同案件の準備調査報告書はないようですが、同案件は「カッサラ市給水施設改善計画」における改修プロジェクトと拡張プロジェクトのうち、「改修プロジェクト」のことを指すとの理解でよいでしょうか？	「カッサラ市給水緊急改善計画」が対象であり、「カッサラ市給水計画 (http://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2012_1260300_1_s.pdf)」とは異なります。
5	【第 3 業務実施上の条件】(p24 業務指示書)	「全ての対象案件の評価報告書において総括／プロジェクト評価1とその他団員との連名とする」とありますが、総括／プロジェクト評価1自身が案件を担当する場合、当該案件についてもその他団員との連名となりますでしょうか？	総括自身が担当する案件は連名にはなりません、本パッケージのうち4号以下の若手人材を活用する案件は、4号以下団員と総括との連名となります。

以上